

2018年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年11月2日
東

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 2017年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年6月期第1四半期の連結業績(2017年7月1日~2017年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年6月期 第1四半期	6,634	74.9	610	90.4	632	123.9	332	84.9
2017年6月期 第1四半期	3,794	21.5	320	△35.7	282	△42.4	180	△63.6

(注) 包括利益 2018年6月期 第1四半期 0百万円(△99.8%) 2017年6月期 第1四半期 261百万円(△37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年6月期 第1四半期	5.25	5.14
2017年6月期 第1四半期	3.10	2.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年6月期 第1四半期	19,249	11,074	56.2
2017年6月期	18,141	11,013	59.4

(参考) 自己資本 2018年6月期 第1四半期 10,824百万円 2017年6月期 10,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年6月期	—	0.00	—	0.50	0.50
2018年6月期	—	—	—	—	—
2018年6月期(予想)	—	0.00	—	0.50	0.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年6月期の連結業績予想(2017年7月1日~2018年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,600	40.8	2,000	36.5	1,900	46.3	1,150	6.9	18.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2018年6月期1Q	65,922,400株	2017年6月期	65,852,400株
② 期末自己株式数	2018年6月期1Q	2,709,806株	2017年6月期	2,709,806株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2018年6月期1Q	63,194,551株	2017年6月期1Q	57,819,147株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

2018年6月期第1四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2016年8月3日発表の中期経営計画に基づき、当連結会計年度を選択と集中のフェーズと定め、特にOn Platform事業における収益基盤の確立に注力しております。

・On Platform事業

既存サービスが着実に成長しておりますが、中期経営計画の達成に向けて新サービスの開発にも取り組んでおります。

・Beauty Service事業

当第1四半期連結会計期間における新規出店はなかったものの、前期の第2四半期以降に出店した店舗の売上寄与やその他の店舗の成長に伴い、大きく増収となりました。

・Global事業

中国の越境ECが成長したほか、前連結会計年度に子会社化することを決定した海外企業3社の損益計算書を当第1四半期連結会計期間より連結したため、増収となりました。また、それに伴う3社ののれんの償却により費用が増加いたしました。

・その他事業

営業投資有価証券の売却を実施したこともあり、大きく増収増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間（2017年7月1日～2017年9月30日）の業績は次の通りとなりました。

売上高	6,634百万円	(前年同期比	74.9%増)
営業利益	610百万円	(前年同期比	90.4%増)
経常利益	632百万円	(前年同期比	123.9%増)
税金等調整前四半期純利益	616百万円	(前年同期比	120.8%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	332百万円	(前年同期比	84.9%増)

①On Platform事業

当セグメントには、当社が運営する美容系総合ポータルサイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした各種サービス（BtoB、BtoC）を提供しております。

当第1四半期連結会計期間におきましては、ブランディング広告やバナー広告、ブランドファンクラブなどのサービスが成長しました。

BtoBサービスにおきましては、第3四半期のリリースに向けて化粧品メーカー向けの新サービスを開発中です。なお、前第1四半期連結会計期間において大型イベントの売上を計上しておりますが、当連結会計年度においては第1四半期にイベントを実施したほか、下期での実施も予定しております。

BtoCサービスにおきましては、主に「Bloombox」の有料会員数が減少したことにより減収となっております。なお、「Bloombox」やプレミアム会員向けサービスは、第3四半期以降順次リニューアル予定であるため、プロモーション等による事業拡大は下期以降を見込んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	1,760百万円	(前年同期比	4.2%増)
セグメント利益	631百万円	(前年同期比	3.3%増)

②Beauty Service事業

当セグメントには、国内における化粧品ECサイト「@cosme shopping」の運営、化粧品専門店「@cosme store」の運営や、プライベートブランドの企画・開発・販売が属しております。

ECにおきましては、引き続き取扱商品の強化を行ったほか、ポイントやクーポンを活用したキャンペーンの実施などにより売上が好調に推移いたしました。

国内の店舗におきましては、当連結会計年度は出店を抑制し前連結会計年度に出店した店舗の収益化を図るフェーズとしております。そのため、第1四半期においては新規出店を行っておりませんが、前期の第2四半期以降に出店した店舗の売上寄与やその他の店舗の成長に伴い、大きく増収となりました。なお、第1四半期末の店

舗数は24店舗（前年同四半期末13店舗）となっております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	2,749百万円（前年同期比 73.5%増）
セグメント利益	125百万円（前年同期比 559.8%増）

③Global事業

当セグメントには、日本国外で展開するサービスが属しております。

中国における越境ECにおきましては、11月11日の独身の日※1を見据えた卸先からの発注もあり、好調に推移しております。

本年5月と6月にオープンした台湾の3店舗におきましては、まだオープンして間もないため売上への貢献は限定的であり、引き続き新規顧客およびリピート客の増加に向けて取り組んでおります。

当第1四半期連結会計期間より損益計算書の連結を開始した、海外企業3社※2におきましては、中長期的な事業の成長に向けた取り組みや効率化・合理化を進めております。なお、第1四半期より3社に対するのれんの償却（第1四半期償却額：92百万円）を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	1,661百万円（前年同期比 240.7%増）
セグメント損失	8百万円（前年同期 セグメント利益 50百万円）

※1 中国で11月11日に開催されるECの大規模な安売りセール

※2 下記の3社

- ・Hermo Creative(M)Sdn. Bhd.（マレーシアで化粧品ECサイト「Hermo」を運営）
- ・i-TRUE Communications Inc.（台湾で美容系総合ポータルサイト「UrCosme」を運営）
- ・MUA Inc.（米国で美容系総合ポータルサイト「MakeupAlley」を運営）

④その他事業

当セグメントには、美容部員等を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

当第1四半期連結会計期間におきましては、人材派遣事業が着実に成長しました。また、投資育成事業において営業投資有価証券の売却を実施しており、当該売却により売上高として285百万円、売上総利益として253百万円を計上しております。なお、営業投資有価証券の売却は毎四半期継続的に発生するものではありません。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	464百万円（前年同期 33百万円）
セグメント利益	258百万円（前年同期 セグメント損失 2百万円）

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,108百万円増加し19,249百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,103百万円減少し11,464百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が355百万円、商品が596百万円増加したものの、現金及び預金が1,117百万円、営業投資有価証券が511百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,212百万円増加し7,785百万円となりました。これは主に、のれんが1,627百万円、投資有価証券が430百万円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,048百万円増加し8,175百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ390百万円増加し4,746百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が323百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ658百万円増加し3,430百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ60百万円増加し11,074百万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が380百万円減少したものの、利益剰余金が384百万円、為替換算調整勘定が39百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2017年8月4日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,169	5,053
受取手形及び売掛金	2,282	2,637
商品	1,584	2,181
営業投資有価証券	1,629	1,118
その他	915	489
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	12,567	11,464
固定資産		
有形固定資産	824	832
無形固定資産		
のれん	2,135	3,762
ソフトウェア	1,180	1,128
その他	116	319
無形固定資産合計	3,431	5,209
投資その他の資産		
投資有価証券	471	901
その他	848	843
投資その他の資産合計	1,320	1,744
固定資産合計	5,574	7,785
資産合計	18,141	19,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,258	1,581
1年内返済予定の長期借入金	1,162	1,471
未払法人税等	326	244
賞与引当金	173	122
その他	1,436	1,329
流動負債合計	4,356	4,746
固定負債		
長期借入金	2,756	3,411
その他	16	18
固定負債合計	2,772	3,430
負債合計	7,127	8,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,482	3,487
資本剰余金	3,417	3,421
利益剰余金	3,535	3,918
自己株式	△281	△281
株主資本合計	10,153	10,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	546	166
為替換算調整勘定	74	113
その他の包括利益累計額合計	620	279
新株予約権	75	87
非支配株主持分	165	163
純資産合計	11,013	11,074
負債純資産合計	18,141	19,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年7月1日 至2016年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)
売上高	3,794	6,634
売上原価	1,664	3,322
売上総利益	2,130	3,312
販売費及び一般管理費	1,810	2,702
営業利益	320	610
営業外収益		
受取利息	0	0
投資事業組合運用益	1	5
為替差益	—	13
持分法による投資利益	—	3
その他	2	4
営業外収益合計	3	26
営業外費用		
支払利息	2	3
為替差損	18	—
持分法による投資損失	20	—
その他	0	0
営業外費用合計	41	4
経常利益	282	632
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
減損損失	—	14
その他	1	2
特別損失合計	3	16
税金等調整前四半期純利益	279	616
法人税等	98	277
四半期純利益	181	340
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	180	332

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年7月1日 至2016年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年9月30日)
四半期純利益	181	340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	△308
為替換算調整勘定	△44	41
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△71
その他の包括利益合計	80	△339
四半期包括利益	261	0
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259	△9
非支配株主に係る四半期包括利益	2	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,689	1,585	487	33	3,794	—	3,794
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	14	10	27	△27	—
計	1,692	1,585	501	43	3,821	△27	3,794
セグメント利益又は損失 (△)	611	19	50	△2	678	△358	320

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△358百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△360百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において株式会社Eat Smartの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「On Platform事業」セグメントにおいてのれんが77百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,760	2,749	1,661	464	6,634	—	6,634
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	3	9	2	16	△16	—
計	1,763	2,752	1,669	465	6,650	△16	6,634
セグメント利益又は損失 (△)	631	125	△8	258	1,006	△396	610

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△396百万円は、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△399百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「Beauty Service事業」セグメントにおいて、退店予定の1店舗について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結会計期間においては14百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間においてMUA Inc.の株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「Global事業」セグメントにおいてのれんが1,692百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。